

大使公邸における地方自治体 PR レセプション

2017年3月9日

在韓国日本大使館 村田 健太郎

2015年に国交正常化50周年を迎えた日韓両国の交流は、交流人口が年間700万人を突破し、姉妹都市交流も160件を超えるなど、順調に拡大しており、今日の日韓関係の重要な基盤となっています。

日韓両国の交流の一層の拡大を目指すと共に、当地に依然根強い東日本大震災の風評解消を図る目的で、当地の政府・地方自治体・旅行・交通・流通・マスコミ関係者等を対象に、本年3月9日、大使公邸において地方自治体PRレセプションを開催し、当地に拠点のある地方自治体(事務所や職員派遣等)を中心に、25団体※にブースを出展して頂き、日本酒等の試食・試飲や、パンフレット・ノベルティグッズの配布など、それぞれの地方の魅力をPRしてもらいました。

※北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、横浜市、新潟県、富山県、福井市、山梨県、静岡県、京都府、鳥取県、愛媛県、高知県、長崎県、佐世保市、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、自治体国際化協会ソウル事務所、日本政府観光局ソウル事務所

当日は大統領弾劾の前日という状況にも関わらず、政府関係者(外交部、文化体育観光部、行政自治部の局長級)、韓日親善協会中央会理事長、韓国旅行業協会(KATA)会長、航空各社代表等のVIPを含めた85名の参加があり、積極的に各ブースを巡る姿が見られました。



(鈴木臨時代理大使と梁武承KATA会長)



(各ブースの様様)

参加者からは「今まで知らなかった日本の地方について知ることが出来た」「おいしい日本酒を味わえた」「日韓関係が厳しい状況であるからこそ、こうしたイベントが重要」等の声が、出展者からは「厳しい状況にも関わらず、活気のあるPRの場となった」「大使公邸でのレセプションということで、航空各社代表等のVIPに直接PRできた」等の声がありました。

本イベントについては、当地の有力紙である文化日報において記事にされたほか、当地の日本専門ケーブルテレビチャンネル「チャンネルW」において、当日の様子が紹介されました。

当館においては、引き続き、地方の魅力PRや風評解消に向けて、関係団体と連携しつつ、PRに努めて参りたいと思います。



(チャンネルWでの放送内容)